

for independent girls / Tokyo, NY, LA, London, Paris

PERK

生き方に共感できる、
クリエイティブに生きる女性たち

ハンサムな彼女

call me
handsome
girl!

カタチに行き着くまでの 追求とアクティビティ

エリイ アーティスト/Chim ↑ Pom

やりたいことを実現するためにはまず行動あるのみ。
やらずに後悔するよりやって後悔するほうがまだまし。
そんな彼女を見ていると、無理だと思っていたことも
やれてしまうような、そんな勇気をもらえた気分になる。

PHOTO Riki Yamada [P088]



Chim ↑ Pom 展
『The other side』

2016年から2017年にかけてメキシコ・ティファナとアメリカ・サンディエゴの国境沿いで制作されたアートプロジェクトが発表。
2月18日(土)～4月9日(日)
無人島プロダクション
東京都江東区三好2-12-6
www.mujiin-to.com

Chim ↑ Pom
[The Grounds] 2017
PHOTO : Yuki Maeda
©Chim ↑ Pom
Courtesy of the artist and MUJIN-TO Production



メキシコ国境で目にするもの

PHOTO BY ELLIE

トタンの板を隔てて分かれるアメリカとメキシコ。国境壁を使っている家の庭には大きな木があり、Chim ↑ Pom はそこに「U.S.A Visitor Center」と題したツリーハウスを昨年設置。その意味は展覧会に行けばわかる!

アメリカとメキシコの国境で制作したアートプロジェクト制作などで国内、国外を頻繁に往き来するエリイさん。取材に当たってくれた日もメキシコでの制作から帰ってきて何日か経ったタイミングだった。彼女の行動にはいつも驚かされてばかり。しかしそれと同時に、見た者が「こんなことってできるんだ」と思わず感心してしまうような発想や行動力に満ちている。やりたいことをカタチにするアクティビティを彼女から学ぶ。

って、その板を家の壁に使っている家族がいる。自分とはもたらこの場所に住んでいて壁が勝手に向こうからやってきたと言っています。私自身も、別に悪いことをしたわけじゃないけどアメリカへ行けません。別にアメリカは好きじゃないし、むしろ日本人はなんでアメリカに対してそんな優しい気持ちで接することができるのか解せないくらいなのでいいんですけど。現地に住んでいる人とも私たちアメリカ行けないねーなんて話したりしてました!

「今回メキシコへ行ったのは、前からボーダー(国境)をテーマに続けてきた制作のためです。ずっと国境に興味があってメキシコのことを調べていたんですけど、アメリカまで法外な値段で渡らせてくれる仕事を斡旋しているコヨーテっていう人たちがいるんです。メキシコ人の半分以上はアメリカに行けなくて、国境沿いにスラムがあるんですけど、そこに住んでいる人たちは正規では100%行けない。でも、そもそも全員がアメリカに行きたいって思っているわけでもない。じゃあこの壁ってなんなんだみたいな。べらべらの板のようなものがあ

以前にコヨーテやアメリカに行けないことをテーマに制作を行ったチンポム。今回は国境をテーマに製作をして、東京に持ち帰り展覧会を開くそう。

「1番の失敗ってなんにもしないことだと思っんです。それはもう取り返しがつかない。やってもし失敗したらそれをカバーすればいいけど、何もしなかった失敗はあとで何もできないからよくない。そして、心の消費は時間の無駄につながる。最高潮に気分良く過ごせるかを追求するのは実は結果に結びつきます。これが1番大切にしていることです」

CREATIVE
WOMEN
STYLE
ELLIE

profile

現代アーティスト集団、Chim ↑ Pom (チンポム) のメンバー。今回話してくれたメキシコでの制作についてや、次の展覧会の情報などはホームページやSNSでチェックできる! chimpom.jp
Instagram : @elliechimpom

handsome girl's
way of living

CREATIVE WOMEN (sample : 10) ELLIE

